

令和元年度 総合教育会議 会議録	
1 日 時	令和元年10月28日(月) 午前9時00分～10時00分
2 場 所	委員会室
3 出席者	町 長 大堀 武 総務課長 泉田 晴平 総務係長 寺島 一宏 教育長 佐々木孝司 職務代理者 高崎 義典 委 員 大須賀美穂 委 員 小林 成子 委 員 田村 民雄 教育総務課長 佐藤 茂文 教育総務課課長補佐兼指導主事 山田 徹
総合教育会議 議事次第(司会進行 総務課)	
PART 1	本日の会議の説明(総務課長)
PART 2	町長が教育行政への思いを語る
PART 3	各教育委員からの意見聴取
PART 4	町長からの総括
〔開会時刻：午前9時00分〕	
寺島係長	<p>おはようございます。ただいまより令和元年度総合教育会議を始めたいと思います。司会を務めさせていただきます総務課の寺島と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>はじめに、今月1日に教育委員に田村民雄様が就任しておりますのでご報告させていただきます。</p> <p>つきましては、御出席の皆様と担当者の方々に自己紹介をお願いいたします。</p> <p>まずは、大堀武町長よりお願いします。</p> <p><出席者全員と担当の自己紹介></p> <p>ありがとうございました。</p> <p>なお、はじめにお願いを申し上げます。</p> <p>本日は、議事録作成の関係上、御発言の際には御氏名を告げていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは本日の総合教育会議の進行について申し上げます。別添次第を御覧下さい。そこに記載しておきましたが、本日の会議を4つのPARTによって進めたいと考えます。</p> <p>ご協力をよろしくお願いいたします。それではPART1です。</p> <p>泉田総務課長よろしくお願いいたします。</p>
泉田総務課長	<p>総務課長の泉田でございます。私からはPART1として本日の会議の説明をさせていただきます。</p> <p>平成27年度の4月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が施行され教育委員会制度が変わりました。全国すべての</p>

都道府県及び市町村に首長が主宰する「総合教育会議」の開催が義務付けられたところでもあります。会議開催の回数等につきましては、教育総務課からの意見も踏まえながら担当間で協議をいたし、平成29年度から、町においては「年に1回、10月開催」で行うことといたしたところでもあります。今年度は日程調整の上、本日の招集となったところでもあります。

さて、本年度はお手元に配布しております資料を参考にさせていただきながら、今年度の教育活動を中心として、町行政との関連も視野に入れながらの意見交換を行っていただきたいと思いますと思っております。

なお、本日意見交換されました内容につきましては、後日、町ホームページ上で公表いたしたいと考えております。町行政と教育委員会がお互いに共通理解を図った内容等は、今後策定を予定しております第六次新地町総合計画などの「新しい町づくり」の参考にさせて頂きたいと考えております。

それでは、教育委員会を招集して行う令和元年度「総合教育会議」を開催いたします。

なお、PART2では「町長が今年度の町行政と教育を語る。」ということで町長より話しをしていただきます。

PART3では、各教育委員の皆様及び教育長からお一人ずつ御意見をいただきたいと思っております。

その際、今年度を振り返りながら教育委員として、お気づきの点などにつきまして、また、田村委員におかれましては図書館協議会委員や行政区長の経験などそういった観点から教育活動についての意見をいただきたいと考えております。

よろしく願いいたします。

最後のPART4では締めくくりとして、町長から「まとめ」をいただきたいと考えております。

よろしく願いいたします。

寺島係長

ありがとうございました。

それでは、PART2に移ります。町長よろしく願いいたします。

大堀町長

改めまして町長の大堀です。よろしく願いいたします。

今、司会か話があったように新たに教育委員に田村民雄氏が就任されております。小・中学校のPTA会長、図書館協議会委員など、教育関係の経験も豊富でありますので、これからの教育委員会の活性化にご尽力いただけることを確信しておりますのでご期待したいと思っております。

東日本大震災から8年半が経過し、本年は9年目に入っております。

私も昨年の町長の就任以来一年が経過したわけですが、この一年間は町行政を担う立場として、復興創世の最後の仕上げということで今、一生懸命に町の復旧、復興に務めているところでございます。そういった中で特に新地町だけではないと思いますが少子高齢化がどんどん進んでおりますが、「生まれて良かった、住んで良かった、これからも住み続けたいと思える町づくり」を目指して町行政を進めてまいりたいと思っております。この部分については昨年も触れたとおりであります。そしてこの「総合教育会議」2回目ではありますが、昨年は何も分からない中でありましたが、今年は2回目ありますので昨年よりは少し皆さんの気持ちを聞きながら考えられると思っております。そして先ほどあったとおり平成27年4月から国で「総合

教育会議」を開きなさいということで、そういった中で義務的な中ではありますが、ただ義務という位置づけではなく、これからの新地町の教育をどうするかという非常に大切な会議だと認識しておりますので、これらを踏まえて考えていきたいと思っております。こういった「総合教育会議」といった部分は行政と教育が離れているのではないかと位置づけが強かったのではないかと思っております。それを一元化して子ども達をどうするか、そして「いじめ」をどう無くしていくかという大きな問題があったのではないかと考えております。そういった中で今現在も兵庫県で教育者が教育者をいじめるというとんでもない問題が発生しているわけですが、その辺も十分に直っていかないと、子どもの指導が出来るはずがないと私も思っておりますので、子どものいじめは当然ですが、大人同士のいじめもやはり根絶していかなければならないと思っております。そういった中で日本は急激な社会構造の変化が進んでいると思っております。当然、新地町も同じような問題を抱えております。そして、町行政と教育行政が手を握りあって、しっかりと行政をしていく必要があるということで「協力し合うことの大切さや自分だけの利益を超えて、交流の中で楽しく対話できる絆を創ることの出来る、未来を担う、心豊かで、たくましい子ども達の育成」を図ることと、高齢社会に突入している現在、社会教育におきましても高齢の皆さんが意欲を持って地域社会の行事などに積極的に参加し、笑顔で活動できる生涯学習等の構築も必要ですので、その活性化に努めていかなければならないと認識しております。

町の中で皆さんは見たことあると思いますが、「夢を育み、可能性を伸ばす」という言葉で、これが新地町の教育目標でございます。本来ですとこの上に教育に関する大綱を定め、順番に教育目標を定めていくのが本来ですが、新地町は教育に関する大綱というのは一枚で定めているのは認識していますが、多くが総合計画の中に含まれている内容を盛り込んだものです。これは小さな市町村だからやむを得ないと思います。大きな市町村であれば教育に関する基本計画、きっちりとしたものを作り行っているのが通常だろうと思っておりますが新地町では一枚で大綱を定め、そして教育目標を定めながらやっているのを理解していただきたいと思っております。そうした中で新地町の子ども達には「いつでもどこでも誰とでも笑顔で話せる多くの言葉」を身につけながら成長して行ってほしいと思っております。ただ子どもだけの知恵と知識だけでは中々うまくいかないものもあると思います。その中には情報提供する親の責任もあるだろうし、それを教育し指導していく学校の教育というのも非常に重要ではないかと考えております。そして、現在は少子高齢化の中で、折角子ども達が育っても小学校、中学校、高校、大学と出ると、全部、都会に出て行ってしまおうという地方の悩みがあるわけです。出来るだけ子ども達が新地町の為に何かしようという気持ちになるような教育も必要ではないかと、そして新地町を良くしていくんだ、地元に残ってやっていくんだ、あるいは一度出て行っても新地町だけを見ていた世界と違った他所を見た目で戻って来られるのは大事だと思っておりますので、そういった子ども達を支援していく必要があるだろうと考えております。そして教育は三つ子の魂百までと言われるぐらい正直言いまして家庭の教育が非常に重要で、その他に学校教育、地域教育、そういったものが一緒になって初めて花開くものだろうと思っておりますので、それぞれの部署でそれぞれの分野を頑張ってください。家庭と学校が連携しながら、そして地域が連携しながら子育てをしていくことが大事

ではないかと感じておりますので皆さん方の特段のご支援、ご協力とご努力をお願いしたいと思っております。

昨年の会議録をどんなことを言ったのかなという思いで見せておりました。

高崎委員には文化財や歴史資料の保存等について話されました。今期お辞めになられた前森委員はボランティアの必要性や図書館の充実について話されました。大須賀委員からは教室へのエアコン設置と防犯体制の強化という話がありました。小林委員からは大須賀委員と同じようにエアコンの設置、防犯カメラの設置等、その他ICT教育の効果や集客力のあるインスタ映えする場所の選定等、そういったたくさんの御提言をいただいたところでもありますので、これらを町行政の中に少しずつではありますが反映させていただいたと考えております。今後もそういった意見をお聞かせいただいて行政に反映していきたい、そして子どものためにやっていきたいと思っております。昨年の会議からみると、私からの意見ということで話させていただきましたが、町行政は教育分野のみならず複雑多岐にわたり、いろいろなものを行っていかねばならない、いわゆる教育行政だけを考えるわけにもいかないということにも触れたかもしれません。財政的課題を抱えた中でやっておりますので、すべてを皆さんの望むとおりに行うわけにはいかないということもお話したかなと考えております。昨年度については、エアコン設置、トイレの洋式化等もすべて進めたはずですので、だいたい終わっているかと思えます。さらに給食関係につきましても、相馬市の様に給食全額無料というのはなかなか難しい。それぞれ市町村での特色ある教育行政だと思っておりますので、相馬市がICT全部行っているかというとなんかやっていません。そういった中では新地町はやっている、それと学校給食を一緒にすることは出来ませんが、新地町として予算の中で出来る範囲を頑張っていきたい。本年度から米飯給食の米の主食の部分について無償提供をさせていただいておりますので一定程度のご理解をお願いしたいと思っております。

最近、いろいろな不審者が出ておりますので防犯対策、防犯カメラの設置ということもありますが、それぞれ少しずつではありますが設置をしながら今、進めているということでご理解していただきたいと思えます。私も町長という立場ではありますが委員の皆さんと同じように教育の大切さ、そして子ども達を教育する子ども達への気持ちは委員の皆さんと同等、個人的にはもっとあるという気持ちですが、いろいろな調整をしながら行っていかねばならないということもご理解いただいて、教育委員の皆さんと同じ土俵にいるということもご理解していただきたいと思えます。

今日の会議はそれぞれ話したいことが、たくさんあると思えますが、私がメモ出来る範囲で話していただくと助かります。そして出来るだけその部分でお答え出来るものについてはお答えしながら、そして今年の部分で出来ない部分も当然あります。今の時期ですから来年の予算に向けて出来る範囲を頑張っていきたいと思えますので御忌憚のない意見をお聞かせいただければと思います。以上ですが、町長として教育委員会とともに、子ども達は勿論、町民の皆さんの元気と笑顔があふれる町づくり・人づくりを推進してまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。また、職員には出来ない理由を考えるのではなく、どうしたら出来るかということ常々考えてほしいと思っておりますので、そういった気持ちで職員も一生懸命頑張っております。特に今日、参加している職員は台風1

	<p>9号以来ほとんど休んでおりません。そういった中で出てきているのでご理解いただきながらよろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
寺島係長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、PART3に移ります。教育委員の皆さまから御意見を頂戴したいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>まずは高崎職務代理者様、よろしくお願ひいたします。</p>
高崎職務代理者	<p>教育委員として関わってきまして感想といひますか、この間の尚英中学校の「ゆずの香り祭」ひとりひとりの生徒の表情豊かな職場体験などのICTを使った表現力の素晴らしさがすごく出ていたと感じました。ICTを使わないと中々あのような形にはならないのではないかとこの形で見て参りました。</p> <p>私は、昨年と同様ですが文化財ということでお話をさせていただきます。新地町にはいろいろな文化財がありますが、有名な所で、新地貝塚、三貫地貝塚、臥牛城、新地城など、そういった遺跡がありますが、その中で教育の中で総合指針になっている観海堂の意味合いについていろいろ話を周りから聞いていますとそういう史跡が、観海堂があるということを理解している方はいるのですが、深い内容は中々分からないということがあります。そういったことに対しても少しずつ、次世代といひますが、若い人達に伝えていくことが必要ではないかと考えております。その中で三貫地貝塚ですが縄文期から平安期の長い間にそこで育まれた歴史が地域にあるわけがございます。今の所、更地ということ、どういふものかといふと中々分かり知れないものもござひます。この場所にどういふものが時代時代にあったのか、どのようなものが出土したのかなどを伝える歴史資料館といふものが必要になってくると考えております。予算的な面もありますが現在のところは歴史的遺跡や資料などが埋まっている状態で上手く発表する場が無いわけですが、伝える場を考えていただきたいと思ひます。新地町の伝統文化の復興を考えた時には歴史の理解といふのがとても大切だと思っております。いろいろ予算面的なこともござひますが、長い目で見ていただきながら一連の中で少しずつ進めていただければありがたいと思ひます。以上です。</p>
寺島係長	<p>ありがとうございます。</p> <p>続きまして大須賀委員様、よろしくお願ひいたします。</p>
大須賀委員	<p>昨年度はエアコンの設置、防犯カメラの設置等ありがとうございます。</p> <p>今年の夏は35度を超える日がある中でエアコンがある教室で授業が出来たこと、子ども達にとっても快適に学習をすることが出来ました。ありがとうございます。今年、私からお願ひしたいことはICTの継続とICTの支援に携わる支援員の継続をお願ひしたいということです。2020年プログラミングが学習指導要綱に入り、ICT、ITは大学生が社会に求められる時代が普通にやってくるわけですが、ICTについては私達も、様々なところに視察に行かせて頂いて他県のICTを見ているところですが、その度に思ふのは新地町はITCの活用が上手にまわっていると感じています。人数の丁度良さや各校独自の活用法、ARコンテンツ等の特色を持った活用をしているのですが、それらは先生方の勉強やITC支援員</p>

寺島係長	<p>の方々がいてこそだということが良く分かります。そういったことで総合的に見ても思考力、判断力、表現力を育むための効果的なICT活用は出来ていると実感しています。予算的なことはとても掛かるとは思いますが今後もぜひ、支援員の継続、ICTの継続をお願いいたします。将来、子ども達にとっても有意義なことですし、また子ども達も新地町で学んだことを新地町で活かしたいと思うような新地町にするためにも、ぜひ継続をお願いしたいと思えます。以上です。</p> <p>ありがとうございました。 続きまして、小林委員様、よろしくをお願いいたします。</p>
小林委員	<p>この間の台風におきまして町の迅速な対応により子ども達も早くから授業が出来、また給食面でもご支援をいただいたということで大変嬉しく思いますし早い対応ありがとうございます。</p> <p>私からは施設利用並びそれに関わる巡回バス等についてお話させていただきます。私がこちらに来て25年になります。来た当初はやはり古い建物が多いイメージだったのが、保健センターが出来、図書館が出来また体育館が新しくなり役場が新設され、小学校、中学校等も新築あるいは大規模改修等により新しくなり、とても良い環境で教育がされているのを見してきました。また改修、新築においてこの間の災害におきましては避難場所として大いに活用され、私も利用した中で安心して夜を迎えることが出来たことは大きな財産となり、町にとっては防災において大事な拠点となったということを感じています。また、図書館あるいは体育館の利用についてですが、図書館におきましては各学校において図書館コーナーを設けて図書館の活用をうながしたり、体育館の利用につきましては、公民館で企画をしスポーツの体験やイベントを行い、多くの利用者を募っておりますが、新地町においては、そういったイベント等に参加する人数が少ないと日々、感じておりました。私も子どもが小さい頃は参加していましたが、それもやはり人数が少なく、指導員の方に時間があれば来てと言われての参加という形で、町民の参加、子ども達の参加が少ないと日々感じておりました。教育委員等になりまして企画内容も聞いても、なかなか人数が集まらない、チーム数が増えないということも聞きますし、どうしたらそういった形で活動が出来るのか考えた時に、子ども達が参加する足、町民がその場所まで行ける足が必要なのではないかと考えた時に、新地町では「しんちゃん号」を行っておりますが、その「しんちゃん号」を定刻、定時の巡回バスにし、やはり決まったコースを回り、また夜も利用することが可能になれば、もっと利用する人が増えるのではないかと考えております。また利用を増やす為に土日の利用もあっても良いのでは、イベント等は土日に開催されることが多いですし、また震災後に駅前も綺麗に整備されバスプールも出来たところで、ただ行ってみればバスプールは形だけで時刻表も無ければバスも止まらなく活用がされてないのではと感じて、これから交流センター等も出来上がり、その活用に向けても、駅前を利用する為に巡回バスを回し、多くの町民または子ども達が、いろいろな企画、体験を通して参加でき、知識を広め、地域の皆さんが交流を深めていくのではないかと考え、是非、町内の巡回バス等の利用を考えていただければということをお願いいたします。以上です。</p>

寺島係長	<p>ありがとうございました。 続きまして田村委員様、よろしくお願いたします。</p>
田村委員	<p>この度、10月1日に辞令をいただきまして、活動を初めて一ヶ月経たないのですが、今回このような場所をいただきまして、自分の考えがあればということで、私なりに区長職をやっている時からずっと、子ども、大人、防犯いろいろなことを陳情などで渡していましたが、このたびも私なりに道路など見たのですが、通学路の白線がだいぶ消えてきているということです。車で走っていると、特定すれば目黒商店のちょうど横断する場所ですが、横断歩道が薄くなってしまって目に付きにくいと思いました。福島県では特に横断歩道に人が立っていれば車は停止しなさいよと法律でも決まっておりますが、関係なくどんどん車が走っております。今度、福島県警でも相馬地方も、そういうのがあれば検挙しますよという話は聞いております。検挙するより、まず子ども達の命を守らなければいけないということで、白線を優先的に、道路拡張とかのお金が掛かるわけではないので、ただ白線を引いてもらって、それから道路など順に拡張していってもらえればと思います。私からすると乳児、一番小さい子ども、特に雨など降ると、傘をさして人が通る、まして送迎の車がどんどん走っていますから、車と子どもの接触事故を考えると、白線をはっきりしてもらえば、歩行する子ども運転する大人も注意して走る気がします。子ども、大人もすべて命の大切さを考えると、その他もいろいろあるかもしれませんが優先順位を上げて頂いていただきたいというのが私のお願いです。以上です。</p>
寺島係長	<p>ありがとうございました。 それでは、最後に佐々木教育長、よろしくお願いたします。</p>
佐々木教育長	<p>先ほど町長からもお話いただきましたけれども、学校、家庭、地域が連携していく和や絆が口で言うには簡単ですが非常に大変だと思います。教育総務課では佐藤課長も神出鬼没と言われるくらい腰を落ち着けて部屋にいることはそれほど無く、図書館、改善センター、公民館等とまわっていただけて頑張ってもらっています。また私も含め指導主事達も各学校まわっています。やはり学校では教師力あるいはリーダーシップの力が非常に大事なので一ヶ月に2回、管理職それぞれ別々に集めて齟齬があるかどうか、それを確かめることを継続して行っております。生徒、一人一人について注意点を要する点の意見を別々に頂戴しております。ほとんど重なってくることもありますが、そういった場合には各家庭でもいろいろな問題点が出ている場合があります。新地町に来た当初はは震災の影響もあったのでしょうが一年間に3ケタの相談件数がありましたが、今は私まで上がってくるのは無いぐらいになり、すべて課長のところで、もちろん連絡はきますが、大丈夫だなという形で、あるいは学校で校長先生方が隠すことなく全部、話してくれるということがありますので、上手にコミュニケーションが取れているというのがあります。今後も続けていきたいと考えております。ただ、町が、一歩でも前進するようにアクティブラーニングと言っていますがチャレンジする仕掛けを教育委員会から作っていかねばならないだろうと思っております。先導的ということで行った新地町の事業が来年からの小学校の教科書ではすべて取り入れられているということになります。そういったことも頭に入れながら、子ども達にも自信を持</p>

寺島係長	<p>たせて世の中に送り出してあげたいということと、全国的に見ましても新地町の生徒の優しさ、地元を愛する心が非常に深い、その心を活かせるような職業とは何なんだろうということを皆さんに伝えていきたい。今後も足りないところも出てくるとは思いますが一生懸命教育の部分では頑張ってもらいたいと思います。ただ一番気になることはやはり学校に来てない生徒が多いという。多いというのは2桁台に突入して、中学生は二十数人に一人と言っておりますが、各クラスに一人ずつはいると捉えてもらったほうが良いのではないだろうかと思っております。これは全国共通でございますので新地町だけということではありませんが、そういった生徒が今後、世の中に出ていってきちっと就職して生活出来るような指導が課題です。一人そういう子がいると家庭が暗くなりますので、明るい家庭作りに先生方、教育委員さんの力をお借りしながら頑張っていきたいと考えております。以上でございます。</p> <p>ありがとうございました。 それではPART3を終了させていただきます。</p>
寺島係長 大堀町長	<p>それではPART4に移りたいと思います。 本日の会議の締めくくりといたしまして、町長に感想を交えながら、まとめの言葉をいただきたいと思っております。よろしく願いいたします。</p> <p>委員の皆さんから非常に絞った中身でお話いただきまして、ありがとうございます。私としても絞られれば絞られるほど非常にやりやすいので、そういったことで重点的にやっていきたいと思っております。文化財につきましては、観海堂という部分があります。県の指定であります。土地が指定されているということで、ただ私的には土地だけではなく観海堂を設立した目黒重真をはじめ、そういった方々の思いが大事だと思っております。学制発布されるまえに新地町がこういった小学校的な学校を初めたということが私的には大事だと思っておりますので、これからも、震災で建物等々は無くなったので現在のところに碑だけをあげておりますが、そういった中身で最近是非常に素晴らしい機械があつてということですが、これが事業でなかなか出来ないということがありますので高崎委員から言われたように深く理解させるための何かものを教育委員会と連携しながらやっていきたいと思っております。私自身も福島県で一番最初なんだという思いは誰にも負けなくいろいろな場所で話しますので、そういった思いを話していきたいと思っております。小川の貝塚については国指定ではありますが、縄文時代から生活した痕跡がありますが何も残っていないというのは非常に残念でそういった中ではあります。それらについてもですね、国、県に何らかのそういった資料がですね、新地町にレプリカでも良いから頂けないかというお話はしております。さらに三貫地貝塚については100体を超える埋葬されたと思われる人骨が出てきておりますので、それらについても就任移以降文化庁にお願いをして、骨を飾っても大変なので、復元したもので飾りたいということで調整して、分かりましたという話はもらっているのですが、こちらから上げている復元した顔形、そういった部分で是非ということで教育総務課の担当には話をしながら今、調整はしております。交流センターが出来るまでという思いでいしましたが補助事業だから遅いですと言われれば仕方ないという思いはあります。折角、文化庁の話で良い</p>

よとなったことも踏まえながら、そして新地町にそういう縄文時代からこの場所に生きていたという証となるものも出来れば早く展示したいという思いではあります。その他に私個人的には埋蔵文化財もありますが、もう一つは生きたひと、要は今までの先人の中で新地町出身の方で偉い方、頑張った人がいますので、そういった資料館的なものという思いではおりますがなかなか話は進まない。その他に美術分野においても新地町には画伯がいますし、そういった中で少しずつそういった部分をやっていききたいということで一生懸命働きかけはしていることではあります、人については町民がほとんど知らない方もいます。私も知らなかったという思いがあります。台湾とのからみなどいろいろあるのでそういった中味をもう少し掘っていききたいという思いで、出来れば新地町のそういう先人も含めて、歴史も含めて何か出来れば良いなという思いです。一長一短にはなかなか出来ない部分もございますが、いろいろな所に働きかけをしながらやっていききたいと思っています。大須賀委員からありましたICT継続、支援員の継続ですが、確かに国もプログラミングということでいろんな思いがございます。その中でICTを私は否定もしないし、積極的に肯定もしないという形であります。なぜかという、やはり人間の五感を動かした教育をやっていないと私は伸びていかないのではないかと心配しております。まだ、ICTは子ども達にとってはゲームでしかない。ゲームの一つ、その中でICTのプロの世界の人に聞くと、そんなに早く与える必要はない、良いことかないと言う人もいます。いろんな人がいますので、ただ、正直に言いまして今の新地町のICT教育にはかなりお金が掛かっているということも是非、理解してほしい。この10年間近く注ぎ込んできたという、それがどこまでやっていくのが良いのか将来に渡って継続出来るのかというそろそろ分岐点に来ているのではないかと、私的には、声を出す、聞く、手を動かす、目で見る、五感をすべて働かす教育という、ですから教育長がやっていた「ちから」、そういうものが正に良いものだと思う。ただそれもICTと平行でやるのが正しいと思いますが、どこまでそこをやるのか、そして今の教育現場でICTをやることによって教育現場がどの程度負担軽減になっているのか。そこも重要だと思う。家庭はいろいろなことを求めますが、そこで裏でやっている人達が、どのぐらいの負荷になっているかということも考えていかないと、そのバランスがある種ある、教育現場がほとんど休みもなく帰れないという状況では、それは一方的な要求でしかないと思っておりますので、私はそこにちょうどバランスが取れてないと駄目だと思います。そういったことで、後は今のICTの部分でソフトを組める先生方が、先生方は異動する。その中で新地町に来ると良いという先生もいるかもしれませんが、大変だと思う先生もいるかもしれない。そういったソフトを組まされるのは大変なことだ。ですからそのソフトを組むために支援員がいるのかもしれませんが、ICTに注ぎ込んでいるお金が、すべて子ども達に還元されているのかという、そういう部分も少し考えていただきたいという思いは就任以来ずっと思っております。否定はしない。非常に大事だと思います。今は子ども達のためにアイパットを自宅に持って帰っているということですが、あれはインターネットに繋がっている状況ですから、親の管理をきちんとしていかないと、これは間違っていると大変だということを常に頭においておかないと、その辺も非常に大事なことだと思っております。私的には新地町の人、新地町ではないですが、皆同じように下地を持っている。どこで下地を上げてやるか。そ

こが一つだと思う。今、全国的には学力だけをみると秋田県が良いです。秋田県がどのような教育をしているかを是非に見てきてほしいと思います。これは一年だけ良いわけではない。かなりずっと続いて秋田県が、基礎学力が高いという。私も是非、基礎学力を上げてほしいという思いがずっとあります。何故かという、いっぱい可能性を持った新地の子ども達が次のステップに行った時に戦えるか。人が良いだけでは駄目です。その辺もあるのでは是非、教育委員の皆さんについては本当にICTだけで良いのか。いやこれも一緒にやった方が効果的だ。そういったことを考えながら是非お願いしたいと思っております。私も他所に行って戻ってきた人間ですから特にその辺は非常に敏感だということです。やはり外へ行っても十分に戦えて、挫折なあまり、挫折はほしいですが、あまり挫折しっぱなしでも大変です。人間は。ですからそういったことも是非考えた中でこういったことをやってほしい。是非、教育委員さんには先程話したとおり秋田県の進んだところどのような教育をしながらあのようにしたのか。その部分は非常に大事なことでと思いますのでよろしくお願いします。

小林委員から言われた施設利用の循環バスについてはいろいろな意見がありまして、「しんちゃん号」の見直し等いろいろ出てきていますが、中々難しいところがありまして高齢者に対応すれば循環バスでは厳しいな、やはり戸口から戸口という世界が正しいのかもしれない。しかし若い世代からすれば、やはり循環バスで良いということもある。その辺のバランスを取りながらやっていくべきだろうと思います。私自身も山元町が循環バス。定時で動いているバスです。私自身もやはりそれが良いのかな。そして誰もが利用出来るバスが良いのでないかという思いはずっとありました。ただ私も高齢関係をずっとやっている、そこまで行くのが大変だと言われるとまさにその通りだと。そういったことでバランスというのは非常に大事なことで、「しんちゃん号」については町も見直しの時期かなということではやっておりますが、これもお金の掛かる問題ですし、あとは人事費をどうするのか、あとは先程言われた通り、駅前にはタクシーもない、バスもない、何もない、こういう世界では駄目なのではないかという思いもございましてこれらについては少しこれからの課題にさせていただきたいと思っております。

田村委員から言われた横断歩道を含めた通学路の線、測線を含めて路側帯の線、こういったものについては定期的に町ではやっているのですが、出来ればそういう情報があれば、時々あげてほしい。そして一斉にやらないと町でも経費で結構大変なので、ちょこちょこやってたんでは分からない経費ばかり掛かってしまうので、出来れば年度末にならない内に早めに、そして地図にもおとしていただくと助かると思います。出来るだけ常にそういった部分は早めにやっていきたいと考えております。

あと教育長さんからあったように、教育長さんの部分については私、コメントする部分はないな。私よりずっと教育者でありますので、あとは教育長がいろいろ考えてやっていただけたらと思いますので。

あとは先程申しましたように私的には新地町の町民の方、家庭の方は一生懸命です。ただ、一生懸命過ぎるあまりスポーツならスポーツに走って行ってしまいますということです。スポーツと学業に切り替えスイッチが無いのだと思います。ただ土日も含めて一生懸命やっております。やはり人間には切り替えスイッチがないと、遊ぶ時には遊ぶ、スポーツする時にはスポーツする、勉強する時には勉強する。それが今の町の中では足りないの

ではないか。その辺を教育者も含めて家庭も是非に持ってほしいと思います。1日は24時間です。一生どのぐらい生きるかわかりません。その中で一生懸命勉強する期間は非常に限られています。でも子ども達にすれば家に帰ったらテレビも見たい、アイパットも持って帰ってきたからこれもやってみたい。そうやって、いっぱいあると思うのですが、やはり限られた時間をどのように有効に使うか、そこがやはり家庭でももうちょっと分かってないと駄目なんじゃないかと思います。ですから、小学校から中学校に行くと土日はほとんど部活、やはりスポーツ界だっばんばん練習するのは日本だけと言われるぐらいね、そうでなくて切り替えをして休む時は休む。そういったことが家庭も学校も大事なのではないか。そして指導する側もそこで休憩とれるというのは、また新たな気持ちでやっていこうかという気持ちになるのですが、年がら年中ずっとやっていたんでは大変だと思いますので、そういった是非切り替えスイッチを持たせるような工夫も是非お願いしたいと思います。そして「いじめ」これはなかなか表面には出てこないと思います。ですからやはり教育委員の皆さんはそっちこっちにアンテナを立てながらやはりその辺を早く察知をしていただいて、早めに手を打っていくというのが大切だと思いますのでそういったこともお願いしたいと思っております。私としてもそういった部分については一生懸命やりたいと思っております。「いじめ」のある学校でも駄目だし「いじめ」のある地域でも駄目だと思っておりますが、地域の中を見たってやっぱ「いじめ」じゃないのかという部分もあります。子どもに限らず大人の世界でもそういったことがありうるということですから、そういった部分もぜひ気を遣って頂ければ嬉しいなとそして是非、こんなに改まった席ではなくて違う時の方が私としても良いと思いますのでそういった中でやはりこれからの町の教育をどう考えるか、子ども達をどうしたらいいか考えていきたいと思って、まとめにはなりませんがこの部分で私の最後の言葉にしたいと思います。以上です。

寺島係長

ありがとうございました。
皆さまから本日の内容についてご質問等ございますでしょうか。

佐々木教育長

今までの出してきた、教育委員さんにも成績はお示ししてあるのですが、町長の言われた通り中学生になると非常に学力的に小学生の時より落ちる傾向にあります。上がってはいるのですが、もっと上がっても良いのではないかと町長の懸念されているところかなと思います。この辺については教育委員の方々始め私達もしっかり考えてやっていかなければならないと考えています。今、「しかけ」を考えているところでございます。以上です。

寺島係長

皆さまから御意見等、ご質問等なければ最後に総務課長より事務連絡を申しあげまして、「総合教育会議」を閉じさせていただきます。
それでは、総務課長、閉会の言葉をよろしく申し上げます。

泉田総務課長

大変、貴重な御意見ありがとうございました。町長からもありましたが今後、町づくりに活かしていけるといったことだと思っております。
それでは閉会の前に事務連絡を申しあげます。来年度の「総合教育会議」についてですが、定例会としては今年度と同様に年1回、10月開催で予

定しております。

来年度の日程につきましては、後日お知らせいたしますのでよろしくお願いいたします。

それではこれで、令和元年度「総合教育会議」を終わります。

本日はありがとうございました。

(10時00分会議終了)